

《 2. 栄養・食生活》

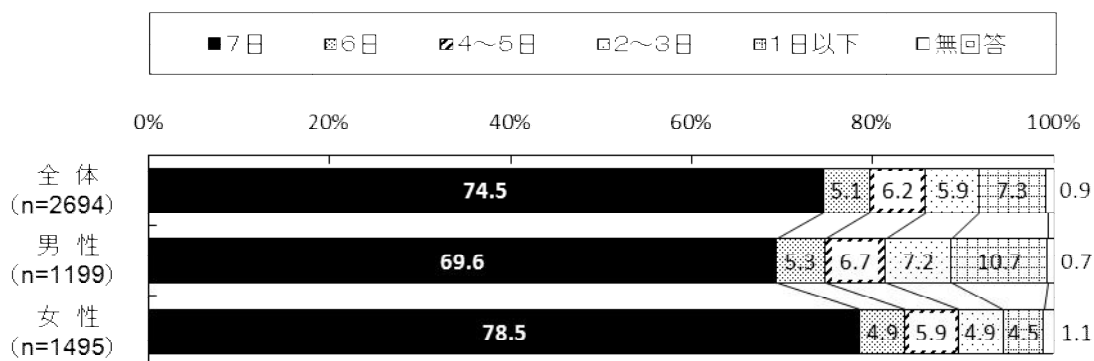
問11 あなたは、ふだん1週間に何日朝食をとりますか（〇はひとつ）

全体では「7日」が74.5%で最も多く、次いで「1日以下」が7.3%となっている。「2～3日」と「1日以下」を合わせた13.2%は《週に半分以下》朝食をとっていない。

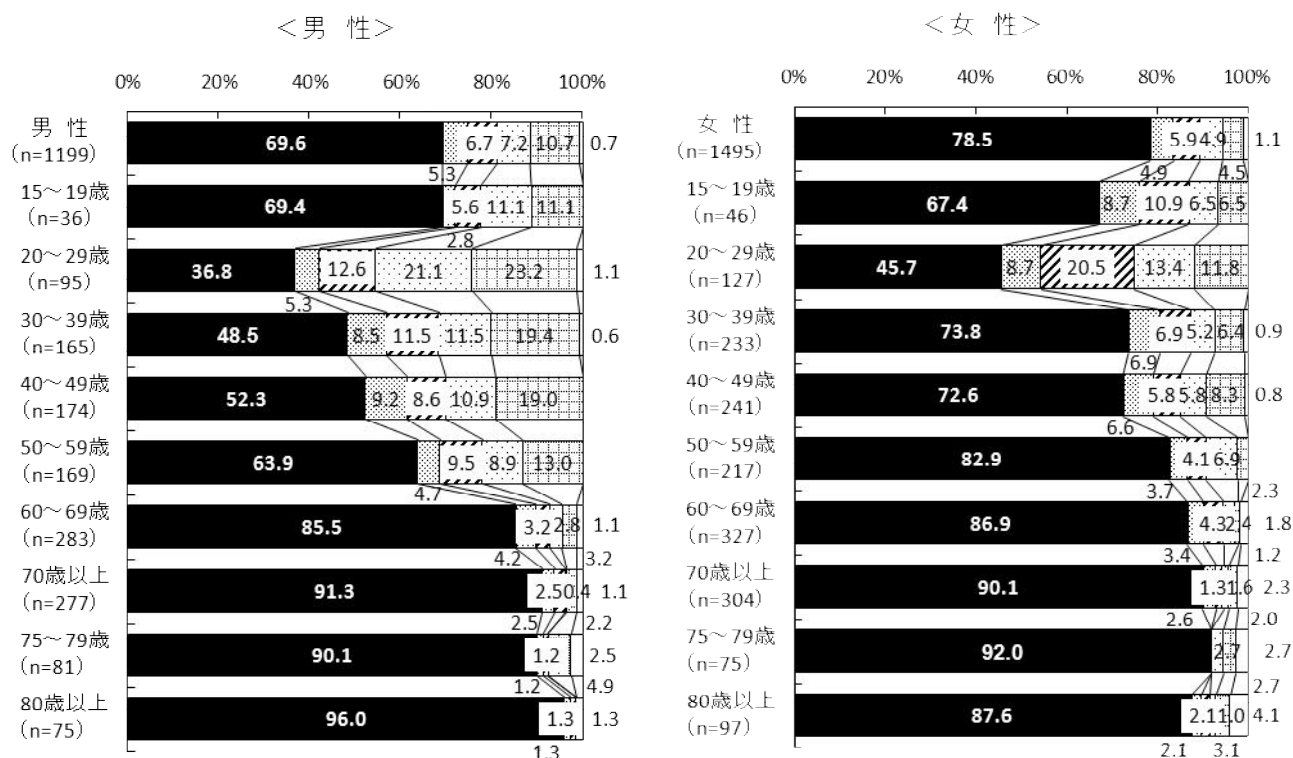
性別では、女性に比べて男性は「1日以下」《週に半分以下》の割合が高く、男性に比べて女性は「7日」の割合が8.9ポイント高い。

性・年齢別では、「7日」の割合が最も高いのは男性70歳以上で91.3%、女性70歳以上で90.1%、「1日以下」の割合が最も高いのは男性20～29歳で23.2%、女性20～29歳で11.8%となっている。

問11 1週間に朝食をとる回数（全体／性別）



問11 1週間に朝食をとる回数（性・年齢別）



※「75～79歳」「80歳以上」は再掲

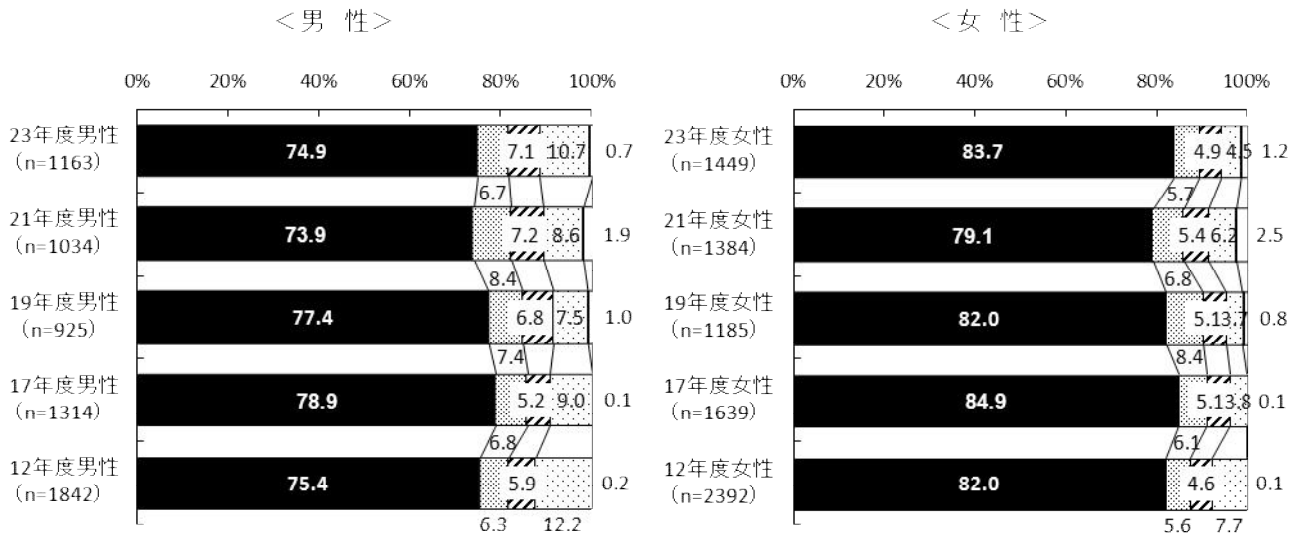
過去の調査結果と比較すると、全体、性別とも大きな違いはみられない。

【経年調査との比較】

問11 1週間に朝食をとる回数（全体）



問11 1週間に朝食をとる回数（性別）



※21年度・23年度調査の「6日以上」は「7日」と「6日」を合算している

※12年度調査と比較のため、17年度・19年度・21年度・23年度調査は15～19歳の回答者数を除く

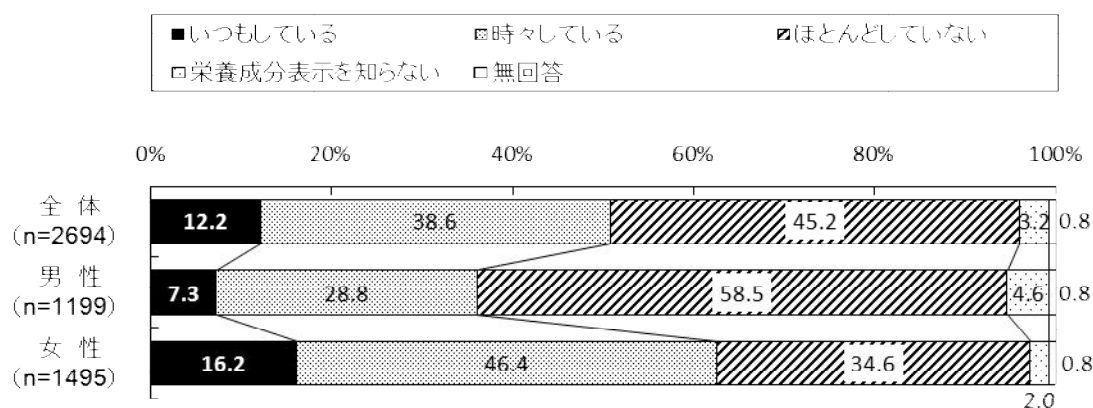
問12 あなたは、ふだん外食する時や食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか（〇はひとつ）

全体では「ほとんどしていない」が45.2%で最も多く、次いで「時々している」が38.6%、「いつもしている」が12.2%、「栄養成分表示を知らない」が3.2%となっている。「いつもしている」「時々している」を合わせた《している》は50.8%となっている。

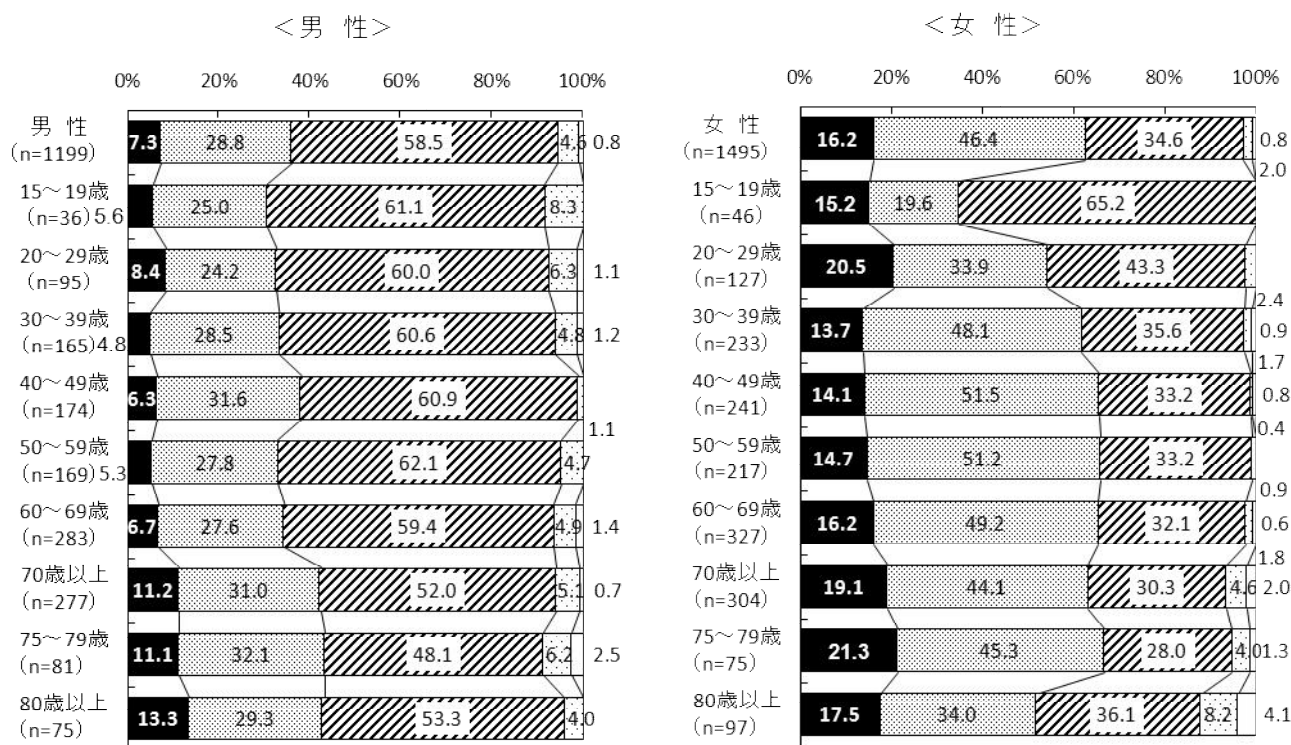
性別では、男性は「ほとんどしていない」、女性は「時々している」《している》の割合が高い。

性・年齢別では、男性は年齢による大きな違いはみられない。女性は女性15～19歳は「ほとんどしていない」が65.2%と半数を超えるものの、年齢が上がるにつれて《している》の割合が増加している。

問12 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にするか（全体／性別）



問12 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にするか（性・年齢別）

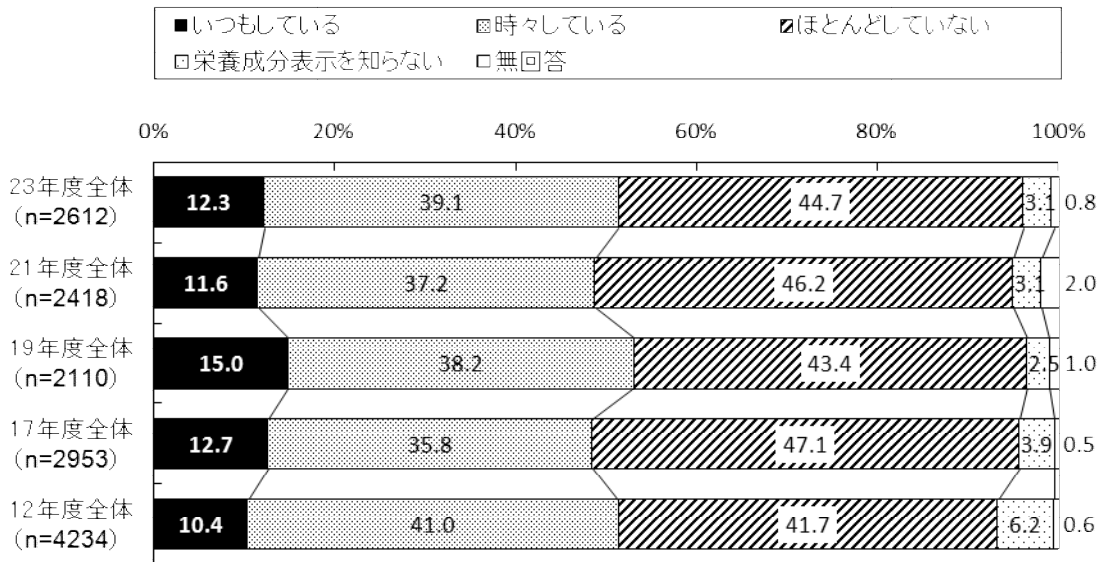


※「75～79歳」「80歳以上」は再掲

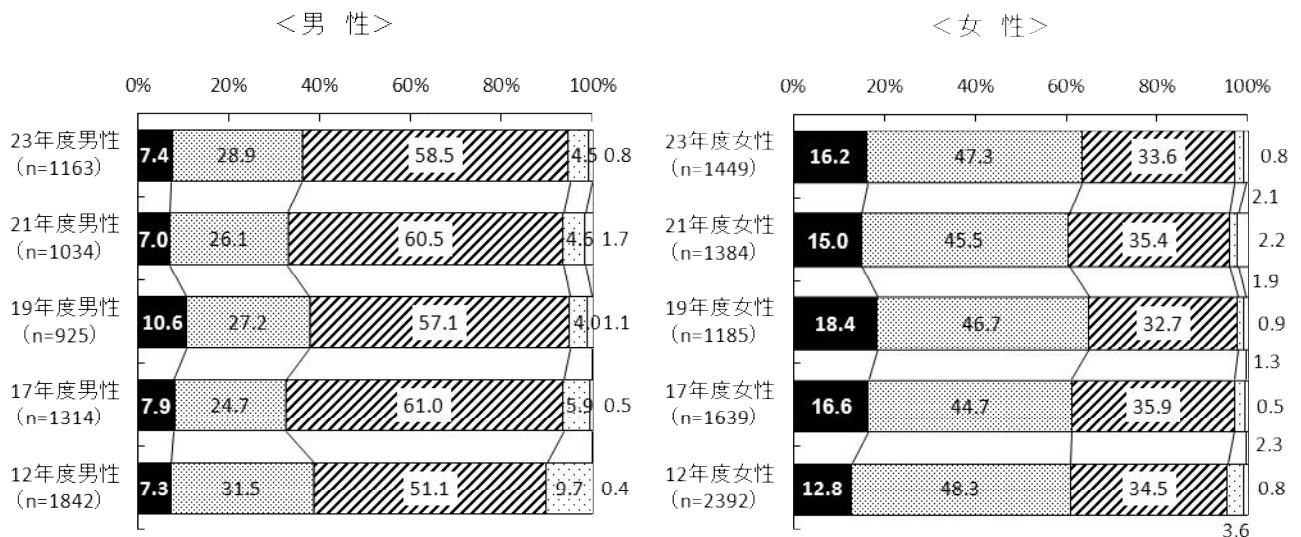
過去の調査結果と比較すると、全体、性別とも大きな違いはみられない。

【経年調査との比較】

問12 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にするか（全体）



問12 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にするか（性別）



※12年度調査と比較のため、17年度・19年度・21年度・23年度調査は15～19歳の回答者数を除く

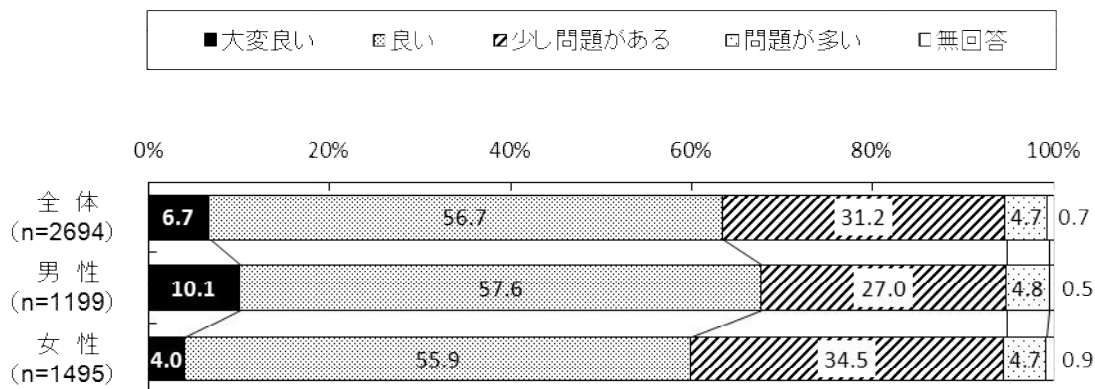
問13 あなたが現在とっている食事を、どのように思いますか（〇はひとつ）

全体では「良い」が56.7%で最も多く、次いで「少し問題がある」が31.2%、「大変良い」が6.7%、「問題が多い」が4.7%となっている。「大変良い」「良い」を合わせた《良い》は63.4%、「少し問題がある」「問題が多い」を合わせた《問題がある》は35.9%となっている。

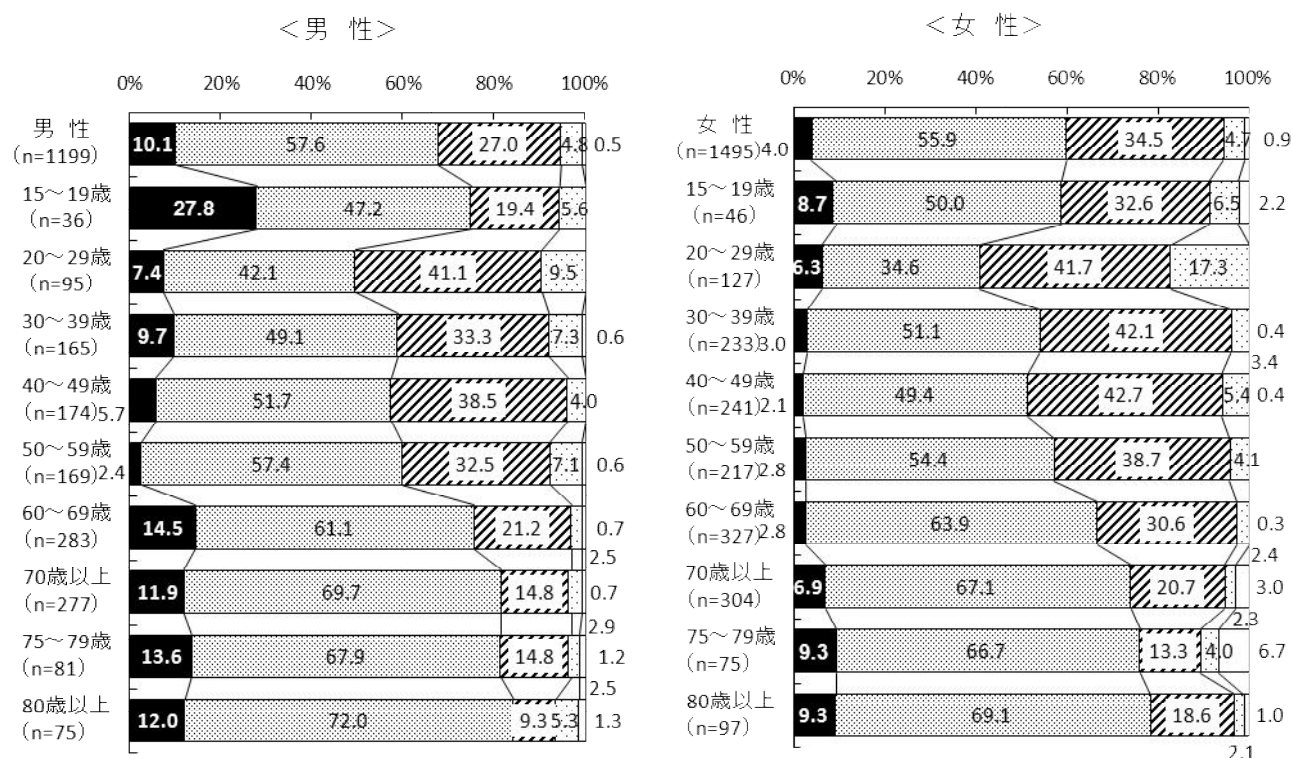
性別では、女性に比べて男性は《良い》の割合が7.8ポイント高く、男性に比べて女性は《問題がある》の割合が7.4ポイント高い。

性・年齢別では、《良い》の割合が最も高いのは男性70歳以上で81.6%、女性70歳以上で74.0%、《問題がある》の割合が最も高いのは男性20～29歳で50.6%、女性20～29歳で59.0%となっている。

問13 現在とっている食事をどう思うか（全体／性別）



問13 現在とっている食事をどう思うか（性・年齢別）



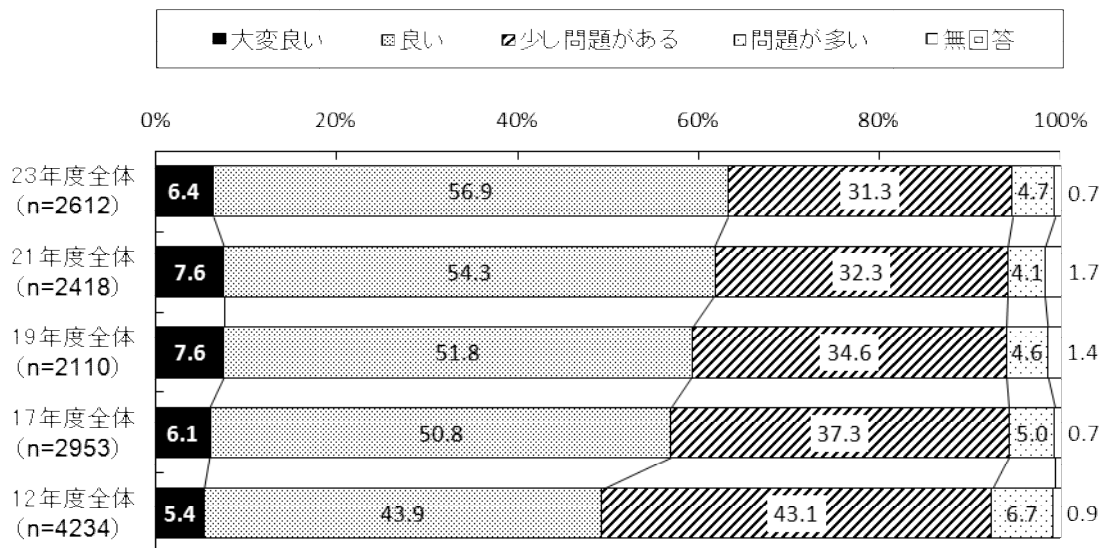
※「75～79歳」「80歳以上」は再掲

過去の調査結果と比較すると、全体では「良い」の割合が年々増加して、「少し問題がある」の割合が年々減少している。

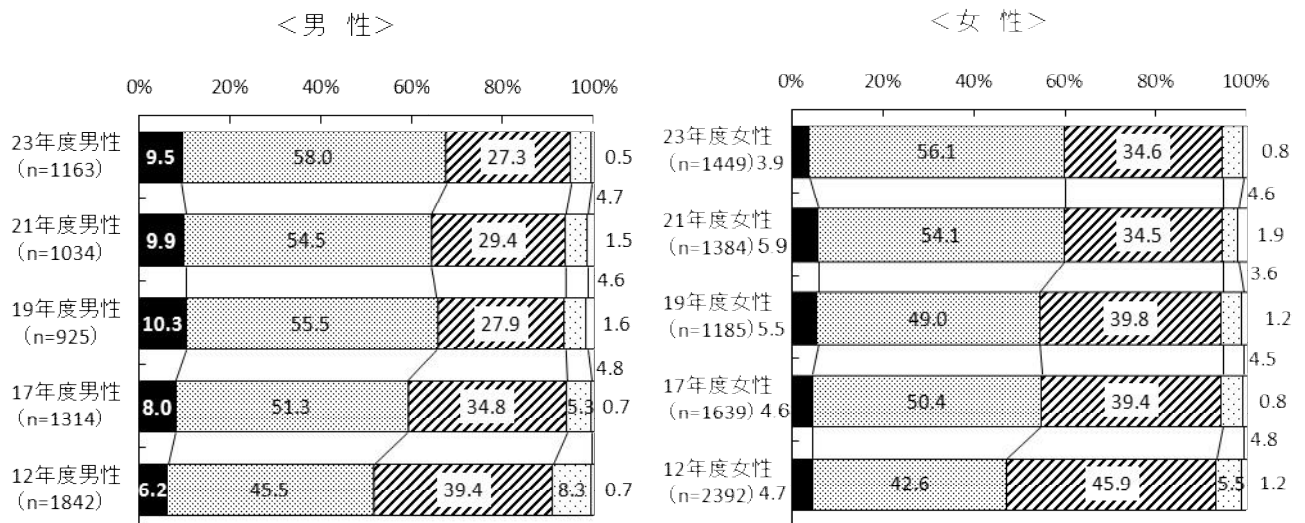
性別では、男女とも「良い」の割合が増加して、「少し問題がある」の割合が減少傾向にある。

【経年調査との比較】

問13 現在とっている食事をどう思うか（全体）



問13 現在とっている食事をどう思うか（性別）



※12年度調査と比較のため、17年度・19年度・21年度・23年度調査は15～19歳の回答者数を除く

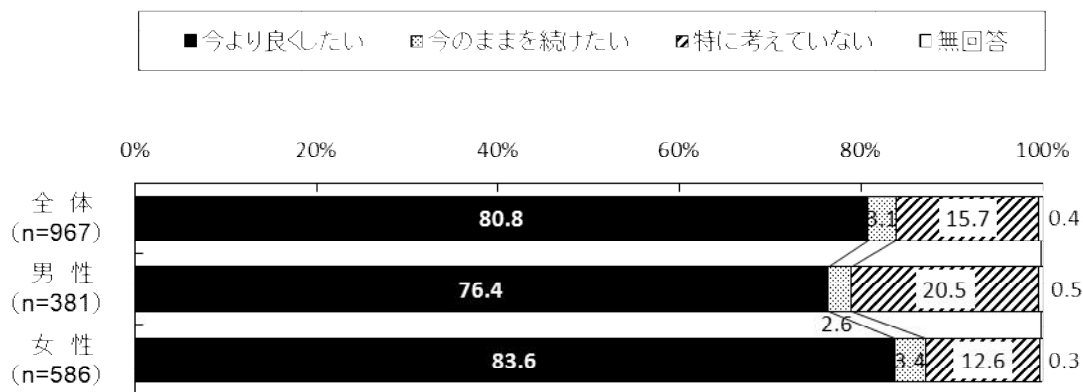
問13-1 【問13で「少し問題がある」「問題が多い」とお答えの方に】あなたの食事について、今後どのようにしたいと思いますか（〇はひとつ）

現在とっている食事を「少し問題がある」「問題が多い」と回答した967人に今後の考えをたずねた結果、全体では「今より良くしたい」が80.8%で最も多く、「特に考えていない」が15.7%、「今のままを続けたい」が3.1%となっている。

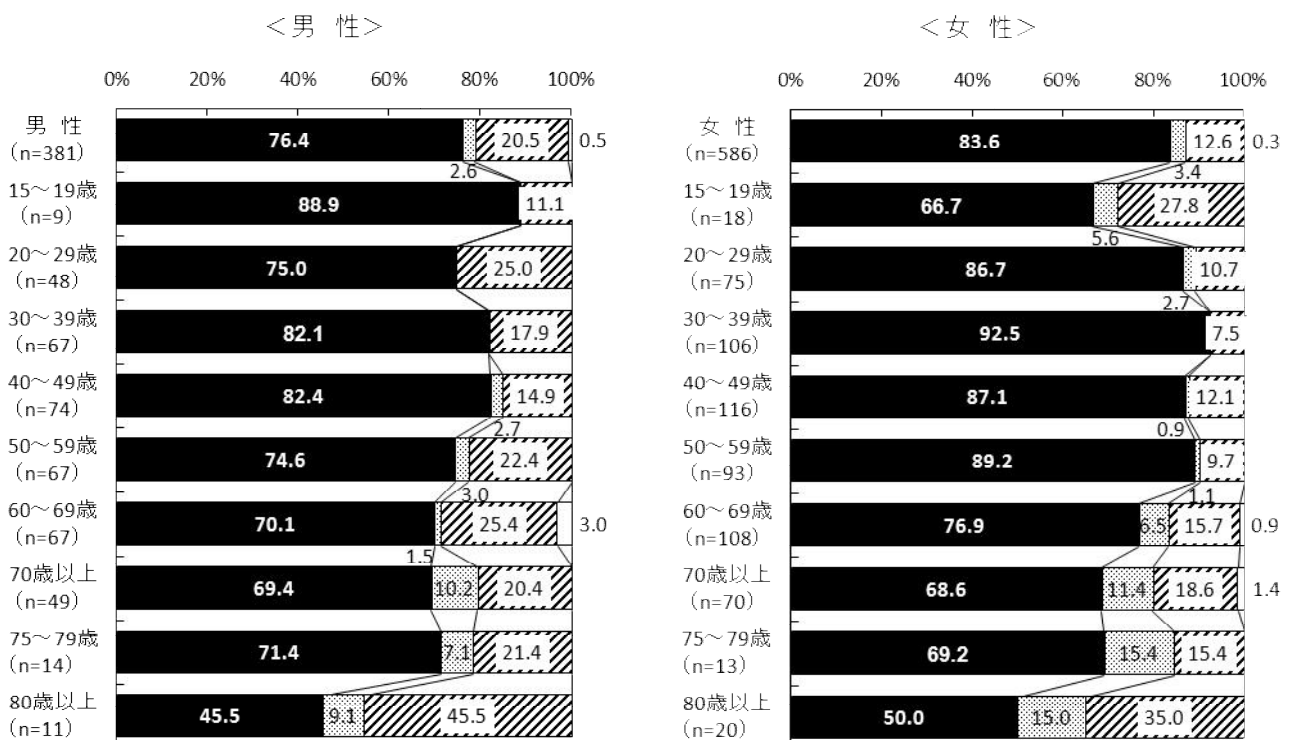
性別では、女性に比べて男性は「特に考えていない」の割合が高く、男性に比べて女性は「今より良くしたい」の割合が高い。

性・年齢別では、「今より良くしたい」の割合が最も高いのは男性40～49歳で82.4%、女性30～39歳で92.5%、「特に考えていない」の割合が最も高いのは男性60～69歳で25.4%、女性70歳以上で18.6%となっている。

問13-1 食事に対する今後の考え（全体／性別）



問13-1 食事に対する今後の考え（性・年齢別）

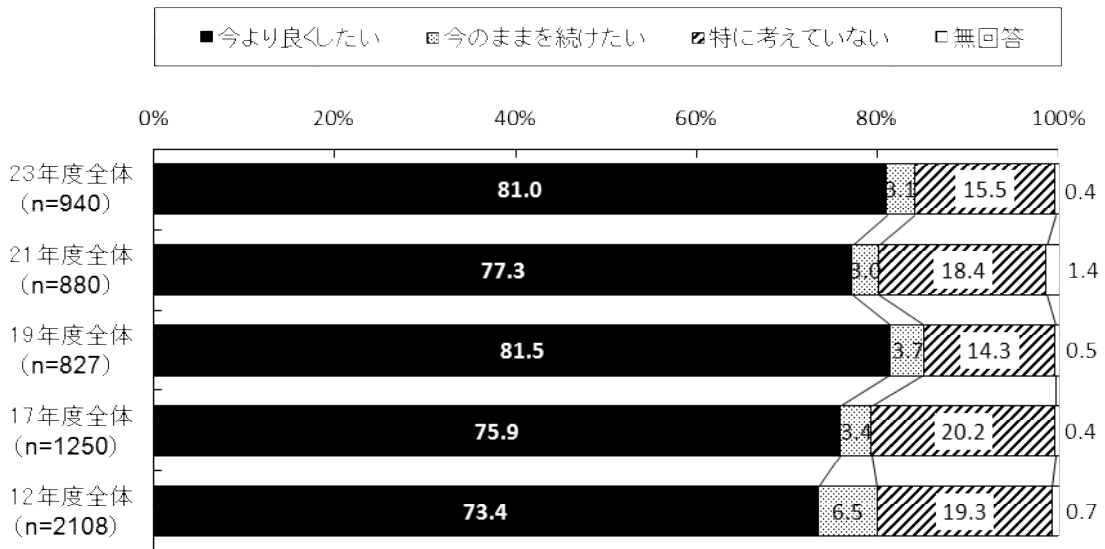


※「75～79歳」「80歳以上」は再掲

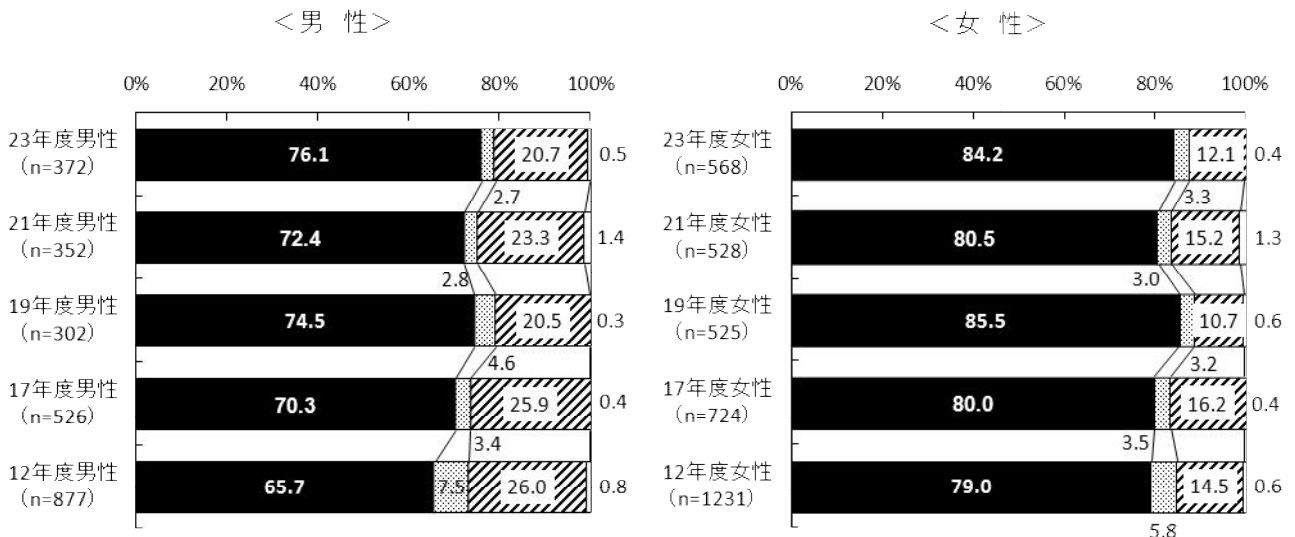
過去の調査結果と比較すると、全体では「今より良くしたい」の割合が増加傾向にある。性別で見ても、男女とも「今より良くしたい」の割合が増加傾向にある。

【経年調査との比較】

問13-1 食事に対する今後の考え（全体）



問13-1 食事に対する今後の考え（性別）



※12年度調査と比較のため、17年度・19年度・21年度・23年度調査は15～19歳の回答者数を除く